

○採用提案の概要

年	期	種類	提案題名	概要
令和3年度		一般	記念用フォトブース・パネルの作成	婚姻届の提出を希望する来庁者の約半数は記念写真を撮影してほしい旨の申し出がある。市民課内・庁舎内にはそのような撮影に適した場所がないため、本庁正面玄関入口右手側の暗幕と既設スポットライトを活用して、来庁者のイベント時(婚姻、出産、転入など)に記念撮影ができる場所を設けたらどうか、シーンを選ばない蒲郡らしさを盛り込んだ背景にプラスして、各イベントに合わせて利用できる小物を配置することで来庁者のニーズに応えられるようにし、来庁者が市役所に対してプラスのイメージを持ち、長く蒲郡市に住みたいと思ってもらえる。さらに来庁者がSNSに投稿することで蒲郡市のブランディングにもつながると考えられる。
		一般	庁舎新館全階段に手すり取付けで安全な階段。避難時の安全と、健康増進を図る	市役所庁舎全階に階段手すりを付ける事により、火事等非常時避難する時全階に手すりがあれば、大勢の人が手すりをつかみながら避難出来る事で、多少込み合っただけでも押しつぶされたりしても将棋倒れを防ぎます。命を守ることが出来ます。階段から落ちる事故を防ぎます。安全に階段を上り下りすることができ、利用者が増えると思います。日常の階段使用で、体力増強・健康維持・ダイエットをすることが出来ます。階段の利用者が増えればエレベーターの電気料金が節約できます。現在掲示されているこれで〇〇cal消費も役に立っていただけます。
		一般	記念書類を受理した際の記念写真撮影コーナーの設置	記念書類を受理する際の記念撮影コーナーを設置することで、市民サービスの向上を目指す
		一般	不当要求行為等への対応マニュアルの作成について 【アイデア賞採用】	1人1人の職員が、不当要求行為等に遭遇した時に具体的にどのような対応していくかは、個々の経験や判断に頼る部分も多く、課や個人により対応が異なることが多かれ少なかれ発生することが懸念されます。そのため、課や個人で対応が異なるよう千葉県総務部総務課で作成された「行政対象暴力行為マニュアル」のような具体的な行動マニュアルを作成することを提案するものです。
令和2年度	下期	一般	公共施設へのペダル式消毒液スタンドの設置	コロナ禍の今、消毒液の入ったポンプがいたるところに設置されています。手の消毒は、ウイルスや細菌の付着を防ぎ、ウイルスの感染リスクを減らします。しかし、不特定多数の人が使用するため、ポンプのレバーは清潔ではなく、中には消毒をためらってしまう方もいると思います。また、手でレバーを押すため、両手を消毒するために片手ごとに消毒をしている方や、手に持っているものを一旦どこかに置いて消毒をしている方を見かけることもあり、消毒することを億劫に感じる方もいるのではないのでしょうか。そこで、公共施設へのペダル式消毒液スタンドの設置を提案します。
		一般	市役所本庁舎全入口に非接触自動温度計を設置する	職員及び来庁者の感染対策として、特に人の出入りの多い市役所本庁舎全入口に非接触自動温度計を設置する。
		一般	新型コロナウイルス感染症蔓延予防のため市役所内の各所に加湿器を設置する。	新型コロナウイルス感染症が確認され間もなく1年になります。寒冷地である北海道では、10月より第3波の到来と思われるクラスターの確認、感染者、重症者の入院等で大変なことになっています。その原因の1つとして、寒さにより換気が不十分になってしまうこと、空気の乾燥による飛沫の小型化、エアロゾル化による飛散量の増加、鼻腔内の粘膜等の乾燥に伴う免疫機能の低下などがあげられています。厚生労働省の「寒冷な場面における新型コロナウイルス感染防止等のポイント」にも適度な保湿として、加湿器の使用が挙げられています。そこで、積極的な加湿器の使用によって職員及び来庁される市民に対し、新型コロナウイルスの感染を引き起こさないよう対策をする。
		一般	加湿器を各課配置	感染症拡大防止のため、各課へ加湿器を設置する。加湿器の水補給等については、各課にて管理する。
	上期	一般	ホームページの記事IDの活用	市のホームページで附番される「記事ID」を広報等に掲載することで、ホームページとリンクした情報提供が可能になる。限られたスペースでは掲載しきれない情報の詳細や申請書のダウンロードの必要な場合など、このIDを利用して市ホームページのトップページの検索窓で検索すれば、知りたい情報に他のページを経由することなく一度で確実にたどり着くことができるようになるため、IDを活用すべきと考える。新たな事業費等は不要で、広報などの限られたスペースの有効活用や正確でより詳細な情報提供が可能になる一つの手段として、期待できるのではないのでしょうか。
		一般	避難所無線送受信訓練の実施	避難所開設担当職員が各避難所に行き、各避難所に設置されている無線を使用し、現地にて災害対策本部と無線の送受信訓練を行う。 会議室内で行う訓練よりも実践的な訓練を行い、各避難所における無線設置場所の確認、各避難所の職員等との顔合わせ及び無線の使用方法的確認等を行うことができ、避難所開設担当職員の能力向上を図ることができる。
		一般	市役所来庁者用のレンタル歩行器・杖の設置について	歩行不安定な来庁者のために貸出用歩行器や杖の設置を提案する。現在、車いすの貸出しは行っているが一人では操作できなかったり、見た目のこともあり使用するのに抵抗感があるという意見を窓口で耳にした。そこで、車いすよりも気軽に、また一人でも使えるように歩行器やシルバーカー、杖(四脚杖)の貸出しも行うことで、より市民のニーズに応えることができると考える。また、庁舎内の移動の他、窓口の椅子からの立ち上がり時にも支えとして使えるのでヒヤリ・ハットの軽減になると考える。併せて、正面玄関以外の入口から来た市民にも貸出しサービスが分かるよう、各入口や庁舎内に周知用ポスターを掲示することも提案する。
		一般	市役所内各トイレにアルコール消毒の設置	現在市役所の各窓口にアルコール消毒が設置されているが、トイレにも同様のアルコール消毒を設置する。特に多目的トイレは男女ともに使用しているため、衛生面が気になる。トイレを利用した人がその都度便座等をアルコール消毒することによって、市役所内の各トイレがより衛生的かつ安心して利用することができるようになると思う。掃除をしている業者の方はトイレだけではなく、市役所全館のドアノブ等をアルコールを使用して拭いてくださっているので、業者の方の業務負担も軽減できると思う。利用者全員で市役所をきれいにしたいと思い、提案しました。

年	期	種類	提案題名	概要
令和元年度	下期	一般	タブレットの有効活用 ～休日窓口編～	休日窓口の事前説明会を毎週のように人事課が調整をして、税務課、収納課、長寿課が最大1時間30分ほど行っている。 行政課でタブレットを導入し活用可能性を探しているが、休日窓口の事前説明を事前に録画等で収録しておいて休日窓口職員にタブレットごと貸与し、職員はタブレットを見ることで事前説明は不要となり、多く部署の職員負担が減る。また、休日窓口職員も一度説明されただけでは忘れてしまうことがあるが、タブレットで動画であれば当日においても何度も見返すことができる。
		一般	市発行のポスター等印刷物へのUD（ユニバーサルデザイン）フォントの推奨及びUD文書マニュアルの一部改善について 【アイデア賞採用】	近年、お年寄りや障がい者の方、外国人の方などにもより「見やすい、使いやすい」と思えるUDフォントが数多く開発されており、蒲郡市もPCの入れ替えによってワードやエクセル等で使用が可能となりました。UDフォントは、「わかりやすい、読みやすい、読み間違いのない」ことを配慮して作られており（例えば濁点と半濁点の識別がしやすいなど）、生活の中では文字情報に溢れているので市の発行するパンフレットやポスター、案内表示等の印刷物には有効であると考えられます（特に読み書き障害の人や外国人の方への配慮は必要であると考えます）。 併せて、蒲郡市のUD文書マニュアルには、明朝体よりもゴシック体が推奨される表記となっていますが、UDフォントについて追記してみたらどうかと思い提案しました。
		一般	市役所が発送する郵便物に英語表記を併記する 【アイデア賞採用】	蒲郡市の市民の25人に1人は外国籍市民となり、外国籍市民は行政の業務に無視できない存在となりました。 各課から市民宛に多くの郵便物を発送していると思いますが、外国籍市民の多くはそれが市役所からの郵便物であることがわからないため、開封されることなく捨てられています。 改善策として、各課から発送する郵便物の発送元名に漢字に併記してローマ字表記または英語表記を加えることを提案します。 加えることにより市役所からの手紙だと認識され、開封率が格段に上がります。現状では納税通知書など必ず開封して読んでほしいものでもそのまま捨てられていたりしています。一工夫することにより大きな効果をもたらすものです。
		一般	ノー残業デーの音楽 【アイデア賞採用】	ノー残業デーには、6時が近くなったら音楽を流し、帰宅を促す。 方法：午後5時55分から「蛍の光」が流れる。同時に「閉庁時間です」「今日はノー残業デーです」といったアナウンスを入れてもよい。 どこの施設でもすでにあるような、閉まる少し前から音楽を流し、帰宅を促す方法はどうか。図書館やスパーで「蛍の光」を聞くと自然に「帰らなきゃ」と思います。三井ホームでは、午後6時に「ロッキーのテーマ」を流すようになったところ、2～3割残業が減ったそうです。チャイムは短いので、帰り支度ができる程度の時間流れるといいです。ノー残業デー以外の日も流れたら、全体的に自然とメリハリがつくのではないのでしょうか。 ノー残業デーの朝と夕、業務時間内に流れるアナウンスは、お客さんにも聞こえているかと思うと恥ずかしくいたまれない気持ちになります。スマートな啓発ができればいいと思います。
	上期	一般	ハイカウンターに荷物置き台を設置する	どこの施設でも広く設置されているハイカウンターの荷物置き台の設置を提案する。 現在、保険年金課や税務課で手続きをする際、市民の方は荷物を足元に置いたり、狭いカウンターの上に置いたりしている。 特に、保険年金課においては、マイナンバーの関係で仕切り板も設置されたため、荷物は足元に置かざるを得ない。 市民サービスの向上のためにも是非設置してほしいと思う。
		一般	新規採用職員へ「蒲郡の歴史」に関する	新規採用職員の研修に「蒲郡の歴史」に関する研修時間を新たに設ける。蒲郡市がどのような歩みをたどってきたか、明治以降の歴史を中心に、プロジェクトを使用し、古い写真を見て学ぶ研修を行う。蒲郡の歴史に関する知識を得ることは、どの課で業務を行うにあたって、必ず役に立つと思われる。
		一般	土のうステーションの設置 【アイデア賞採用】	集中豪雨や台風による浸水を防ぐため、市民が24時間自由に土のうを持ち出せる「土のうステーション」を市役所（以前にクワンチョウが設置されていた場所）に設置する。あわせて不要になった土のうを回収するための「土のう返却ボックス」を隣接して設置する。災害時に行政ができることには限界がある。あらかじめ土砂を詰めた状態で、24時間自由に土のうを利用できる環境を整えることにより、防災対応にあたる職員の負担を軽減することができる。また、土のうステーションのPR効果により市民の防災意識の向上が期待できる。
		一般	行政課の管理するフリーのソフトウェアの概要について職員向けに周知を行う 【アイデア賞採用】	行政課の管理するソフトウェアにはCube PDF Utility（PDFファイル同士を結合したり、順番を入れ替えたりできる）やPDFエクステンション（文字の挿入、画像ファイルのスタンプ貼り付け）など業務に役立つ、簡単に操作できるものも多くあり業務の効率化に役立つものが複数ある。しかし、実際にはソフトの存在に気づかず、非効率な作業を行っている場面も多いと考える。そこで、ソフトの概要等を周知し（例えばフォーラム等で）、より開かれたものにするべきだと考える。

年	期	種類	提案題名	概要
平成30年度	下期	一般	保育園勤務職員の紙面給料明細廃止 【アイデア賞採用】	保育園職員の給料明細は、現在紙面で受け取っている。しかし保育園のパソコンの庶務管理システムにおいて電子給料明細を各自確認できる中で、紙面の給料明細は廃止する。廃止する事により、紙面の給与明細書を作成する人事課や、一人ずつに配布する園長の負担が減る。
		一般	蒲郡市統合型GISの運用と活用方法について 【アイデア賞採用】	蒲郡市統合型GISの運用と活用が、現在の運用体制では、充分に得られないため、事務局を行政課等に一元化し、政策的に市民サービスの向上も視野に入れ、今後活かしていくもの。メリットとしては、一元化することにより、引継ぎスムーズで、知識も豊富になることから、情報資産のルールについて、そのポリシーを開発各課へ周知できるようになり、情報セキュリティを遵守できる。また、他市では公開型GISとして観光、防災等、様々な情報を提供している所もある。そのような情報を公開するなど、発展的な活用方法の取りまとめが容易となり、市民サービスの向上と業務の効率化が図れる。
		一般	グループウェアの公用車予約にETCカードの予約欄を追加する 【アイデア賞採用】	財務課所管の共用ETCカードは先着順の利用であり、利用状況が把握困難な状況となっています。ETCカードの枚数は、カードを利用可能な公用車の台数と比べて多くありません。ETCカードの枚数を多く保有しているが、実際に利用したい時に全て使われていて困る事態は避けたいものです。そこで、公用車の予約システムにETCカード予約欄を追加し、公用車と同様に予約ができるようにすることを提案します。前もって予約しておくことにより、当日利用時にカードがないという事態を避けることができるようになります。全て利用されている状況でも扉閉時間が確認でき、必要時に使用可能かどうか判断することも可能となります。
		一般	名刺へQRコードを印刷して蒲郡市の観光情報等をPR 【アイデア賞採用】	名刺にQRコードを印刷して、蒲郡市の観光情報や観光施設、特産品の紹介などの蒲郡市の魅力を紹介する。パンフレット等よりも気軽に見てもらえる。名刺を渡すだけで蒲郡市のPRもできパンフレットや広報等の紙などの費用を削減できる。効率的な観光PRが可能。
		一般	市役所内各トイレの手洗い場の踏み台設置 【アイデア賞採用】	市役所へは大人だけでなく、小さな子どもも多く訪れる。トイレを利用することも多いと考えられる。一般的な手洗い場では子どもが自分で手を洗うには高く手が届かず、保護者が子どもを抱いて手を洗うことになる。低い手洗い場が設置できる。または工事ができることが一番望ましいが、予算的に難しいのでは無いかと考える。そのため、各トイレ内の手洗い場に子どもが自分で立って手洗いができるような踏み台を設置する。そのことによって、蛇口に子どもの自分の手が届き、自分で手洗いすることができるようになる。より快適に利用できるようになるのではないかと。
		一般	辞令や（臨時職員等の）任用通知書の電子公印化 【アイデア賞採用】	毎年、全職員分の辞令を発行するにあたって、公印を押しているが、押印する枚数がとても多く、時間を多くとられ、押しミス等があるとさらに作業効率が悪くなると思われる。辞令を電子公印化をすることで単純ミスや漏れが減ると考えられ、忙しい4月の業務量を減らすことができるのではないかと。また（臨時職員等の）任用通知書に関しても電子公印化すれば押印のミス等も減るなど作業効率が上がるのではないかと。
	上期	一般	決裁文書の色区別化 【アイデア賞採用】	起案文書や回覧文書がオレンジ色のフォルダに閉じられて回るが、その中には至急のものも含まれている。至急のものには付箋や、契約検査課のファイルのように至急のコピーが貼ってあったり、と各自で対策を行っている。よく見る光景ではあるが、休みで席を空けたり、出張等や打合せから戻ると、オレンジ色のフォルダが積み上げられていることがある。その中に至急の文書が混ざっている、見逃してしまったことあるのではないだろうか。西尾市の先進事例だが、西尾市は緊急のファイルをピンク色にしている。蒲郡市も同じような取り扱いを行えば、見忘れという簡易なミスが少なくなると考える。
		一般	年度毎の担当者選任届を一つの報告様式にまとめる 【アイデア賞採用】	現在、年度毎に検算責任者、文書取扱主任、環境保全推進員等を、各担当課に個別に選任届を提出している（およそ届出回数8、担当係数13）が、年度初めは各課も繁忙期であり、報告の事務が非常に煩わしい。選任届を一つの報告様式にまとめ、取りまとめ課（人事課又は行政課）にて管理することを提案する。1回の報告で完結させることで、繁忙期における事務負担の軽減や報告漏れの防止が期待できる。
		一般	蒲郡市メッセージ階段 【アイデア賞採用】	現在、蒲郡市では職員や来庁者へ健康や節電の推進などを目的にエレベーターではなく階段を利用することを推奨している。特に職員以外の来庁者への浸透は今後さらに期待できると感じる。それにつながる工夫として、階段の蹴上（段差部分）に、例えば「階段の利用を推奨する（褒める）言葉を三河弁で」、「健康に関する効果（カロリー表示など）」、「蒲郡市の歴史や紹介、PR文」、「フロアの案内（何課があるか）」などのメッセージを表示し、階段利用の促進と庁舎案内などを行う。相乗効果として蒲郡市への愛着を深め、より親しみやすい開かれた市役所の実現につながるのではないかと。
		一般	エレベーターの間引き運転について 【アイデア賞採用】	東日本大震災により日本全体の電力供給不足となったためエレベーターの間引き運転を行ったが、震災から5年たち電力供給不足が解消されたと考え、エレベーターの間引き運転をとりやめ通常運転とする。現状あるものの利用となるため特別な事業費は必要ないと考えます。なおエレベーターの間引き運転の節電効果はあまり大きくないとの情報もあります。提案が実施されれば市民のエレベーター前での混雑解消、加えて職員の移動における時間の短縮ひいては業務に当てられる時間の増加が見込めると考えます。

年	期	種類	提案題名	概要
平成29年度	下期	一般	横断的な補助制度の周知 【アイデア賞採用】	市民及び事業所が利用できる補助制度が一覧になっているWebページがあれば便利。「蒲郡市なんでも出前講座」のような一覧表がダウンロードできればもっと便利。例えば、教育・子育て、防災・減災、産業振興・企業立地、環境・エネルギーなど、部課をまたぐようなものをカテゴリー別に掲載することで、市民目線では探しやすくなり、行政目線では周知しやすくなる。
		一般	記者リリース様式の統一化による広報効果の向上 【アイデア賞採用】	記者リリース文を統一してヘッダー、フッター部分に組織をPRする画像等を掲載する。メディア露出による経済効果は非常に高く、記事として取り上げていただく可能性を少しでも高めるため、様式を統一化することで、記者が受け取ったときに一目で蒲郡市からのリリースだということを伝わりやすくする。さらに市章やキャラクターを使用することで市のPRにもなる。事業費をかけず、事務の軽減化、視認性向上によるメディア露出可能性の向上、市のPRが同時に行える。
		一般	市役所新館エレベータを常時2機稼働に戻す 【アイデア賞採用】	現在の市役所新館のエレベータは午後1時30分から午後4時30分までは1機のみ稼働しており、1機は稼働を休止させています。これは東北の地震の際の電力不足のため稼働を休止させたことによるものです。現在では夏場の電力不足もひと段落しています。来庁者の利便性を考えても2機程度の稼働であれば問題になるほどではないと思います。
		一般	グループウェアへの市が策定した計画、ビジョンの集約 【アイデア賞採用】	市が策定する各分野の計画やビジョンをグループウェアのライブラリを活用して、機構毎にまとめて格納すること提案する。各分野が実施する施策の上位計画を確認しやすいようにすることで、行政事務に対する職員の意識向上や計画の見直し検討、他関連計画との連携を図る際の効率化が期待できる。
	上期	一般	道路管理の窓口の1本化	現在、観光道路や農業用道路等があり、各担当課で対応している。特に観光道路では、技師職がいいため、現場の技術的などところで判断ができず、土木港湾課に同行してもらおう事案も多いため、対処するまでに時間を要することや、簡単な草刈りのクレーンに対して迅速に対応しなければいけない事案を現実ではなく、業者へ発注させるをえないときもあり、費用負担が大きい。そのため、道路の管理を土木港湾課に一本化し、市民サービスの向上を行う。
		一般	玄関案内及び各課窓口への案内図設置 【アイデア賞採用】	庁舎案内図を紙で玄関案内や各課に準備しておく。紙面には担当課がわかるように業務の索引を併記しておく。これを利用することより経験が浅い職員であっても一定水準の庁舎案内が可能となる。
		一般	QRコードの活用によるイベント行事、募集等の周知 【アイデア賞採用】	市の行事イベント・募集等あらゆる場面でチラシやパンフレットを作成する際、QRコードを載せることで、簡単にスマートフォンやガラケーで関連ページに飛ぶことができ、チラシを持たない人への周知に繋がる。
		一般	消防団車両運転研修 【アイデア賞採用】	現在消防団にある車両は普通自動車免許でも運転できるが、普通の車よりかなり大きく、マニュアル車であるものがほとんどである。消防団員の中にはマニュアルの免許は持っているが、マニュアル車の運転をしたことのないものが大半である。消防団には緊急の出動もあり、その際に事故を起こしたら元も子もない。消防団のポンプ操作研修等に加え、蒲郡自動車学校、もしくは広場での消防団車両運転研修を一年に一回行なうことを提案する。
		一般	子供用便座の設置について 【アイデア賞採用】	各トイレに置き型の子供用便座を置く。大人用のトイレでは小さなお子様のトイレの利用が不自由なため、子供用の便座を各トイレに設置する事により、今より快適にトイレをご使用いただけるのではないかと考えられます。
		一般	被服貸与管理の一元化について 【アイデア賞採用】	現在は各課で貸与対象職員の被服貸与実績を管理していますが、異動人数が多い場合や前回の被服貸与実績が前々所属課である場合など、追跡に時間を要することもあります。これを共有(D)フォルダでの一元管理を導入することで、発注及び管理作業の短縮及び効率化が図れます。また、過去の履歴を容易に確認することで、基準外貸与及びサイズ間違いなどの誤発注を防止できます。
		一般	共有フォルダおよびファイルの管理方法の統一 【アイデア賞採用】	市職員としての業務の大部分に前年度や以前のやり方を参考にして行うものが多々あります。それらの業務に関連する、フォルダやファイルを検索するのに現状では多大な時間が必要となることがある。(人事異動が行われた場合等)そこで、それらファイルの管理方法を行政課が全職員にアナウンスすることで、業務効率化が図れると考えます。特に新規採用職員においては、管理方法についてはなにもわからない場合もあり、ほとんどゼロの費用でできるかつ、効果は非常に大きいものであると考えます。
		一般	ゴミステーションがキチンと確保されている宅地開発のススメ 【アイデア賞採用】	民間開発の宅地分譲地におけるゴミステーションの設置と土地の帰属について基準を整備することを提案する。効果として、道路などの公共用地にある不適切なゴミステーションの軽減により、交通安全、都市景観、住みやすさ、まちの魅力向上が期待できるもので、新たに定住する市民の生活環境の向上が図られる。基本的に事業費を確保する必要はなく、実行できる可能性は高い。

年	期	種類	提案題名	概要
平成28年度	下期	一般	庁内備品の耐震化 【アイデア賞採用】	今日、地震が発生した場合、とりえず揺れが収まり業務を開始しようとする。そのときまず何をしなければならないか。まず安全の確保と作業スペースのために掃除から始まる。最悪倒れた備品などで潰された人の救助、備品に蓋がれた通路の確保も含まれる。その次にパソコンを使っている情報の処理となる。パソコンについては庁内にいくつかあるが不明だが、耐震化されてないものは、地面に落ちたり、ケーブルが切断され、使用できないものがあると思われる。そのため十分な数が確保できず、手書きで書類の作成や情報の受け取りとなる可能性がある。上記のような状態になるのを防ぐ、もしくは軽減するために備品の耐震化を提案する。
		一般	救急車適正利用広報について 【アイデア賞採用】	救急車の適正利用は、これからの市全体の大きな課題であり、救急車5台で蒲郡市民の命を守っていかなければならない。そのため市民にどのような事案が救急車を利用したほうがいいのか具体例を2〜3分程度の動画にまとめ市の公共施設でCM感覚で流す。また全ての出前講座でも流してもらおう。救急車が適正利用されれば、蒲郡市民の命を最大限守ることができる。 また旧救急車1回の出動につき約8万の税金が使用されると言われており、適正に利用され最終的に市民の税金の適正利用にもつながる。
		その他	《にこにこ》に春日浦住宅地販売の情報を 入れる 【アイデア賞採用】	平成29年度の子育て支援ガイドブック《にこにこ》の空きの部分に、春日浦住宅地販売の情報を入れる。子育て支援ガイドブック《にこにこ》は、蒲郡市の子育て情報がまとめて詰まっている冊子である。蒲郡市内では、子育て支援課、市民課、保育園、幼稚園、児童館、保健センター、市民病院、図書館等色々な施設に置かれている。子育て世帯が手にするものなので、土地や家の購入を考えている世帯でもある。また、保育園入所を考えている県外人等にも《にこにこ》を窓口で渡すこともある。《にこにこ》に春日浦住宅地販売の情報をページに入れることによって、子育て世帯がその情報を知り、販売が促進されることがある。
	上期	一般	コピー機のリース契約の全庁的な一括 契約について	現在、コピー機については、本庁においては、契約検査課が一括契約をし、コピー1枚あたり0.78円という大変安価な契約を行っており、100枚くらいのコピーであれば、印刷機やオフィスともあまり値段が変わらない便利なものとなっている。しかし、庁外の施設にあつては、独自契約となっているため、1枚あたりの単価が非常に高くなっている。そのため、100枚未満であっても、枚数が多い場合は、わざわざ本庁に行ってオフィスで印刷するという逆に人件費が高くなってしまっているため、庁外も含めて一括契約することを提案します。
		一般	市のホームページに「蒲郡市 申請書・届出書等様式ダウンロードサービス」のページの新設	申請書や届出書等、市民の方がダウンロードして利用することができる様式を集約したページを市のホームページに新たに設けることを提案します。現状の掲載方法は統一感がなく、様式のダウンロードを目的とする際には不便さがある。様式のみを集約し、一括管理するページを市のホームページに新たに作成することで分かりやすく整理することができ、探しやすくなる。より便利で容易に利用できるようになる市民サービスの向上が期待でき、事前に様式を見て必要事項（印鑑やマイナンバーなど）が確認できれば持参忘れの防止にもなる。職員にとっても申請書のダウンロードに関する電話問合せの案内がしやすくなり、統一した対応が可能になる。
		一般	児童手当現況届に伴う「所得証明書」	児童手当現況届に伴う書類として「所得証明書」を毎年6月末までに市役所人事課へ提出する。一方、公務員以外の蒲郡市民は、子育て支援課で「市が必要な税情報を公簿等で確認することに同意」することで「所得証明書」を提出していない。市役所勤務職員は自動交付機で「所得証明書」をすぐ取得できるが、市民病院勤務職員は市役所まで出向く必要がある。そこで蒲郡市在住の市職員は税情報確認に同意することで「所得証明書」の提出を不要とすることを提案する。
		一般	財産及び物品に関する損害保険の財務 会計システムの併合を利用した支払事務 の一元化	現在、財務課にて財産や物品に関する損害保険の加入手続き等を行っています。ただし、公用車（フリート保険で加入している車両以外）については公用車管理事業に基づいて、損害保険料が財務課に予算がついており支払事務をしています。しかし、建物や道路、フリート保険加入の車両については、各課に予算がついているため各課にて支出負担行兼支出出書を作成した後に作成された調書を財務課で全てまとめて会計室へ持ち込みをしています。それを今後、各課は財務課へ支払事務依頼を提出し、財務課は財務会計システムの併合機能を利用して、建物燃料費の支払と同様に建物や道路、公用車のフリート保険料等、各課の予算として計上されているものの調書を作成する。
		一般	消防署敷地内へ災害用マンホール式ト イレの設置	大規模災害発生時、各消防署が災害対応の拠点になる。しかし消防署、特に出張所においては建物自体が老朽化しており、災害時のライフライン確保も限定的である。非常用電源は確保されているが、飲み水は職員個人で備蓄し、トイレの対策はされていない。消防署は災害時、市消防職員だけでなく、緊急消防援助隊で蒲郡市に応援に駆けつけた消防職員が敷地内で活動することが考えられる。災害時に活動する職員の安全衛生を確保するために、設置するべきだと考える。
		一般	庁舎階段踊り場等にフロアマップ、掲 示板を設置する 【アイデア賞採用】	一般市民にも階段を使用するケースが以前より増えているが、各階の配置図などは階段室内にはないため利便性に欠けます。また、照明も薄暗く、踊り場等に掲示する一切のないため殺風景な印象を与えています。既存の案内板も茶系の地に白抜き文字でありかなり見にくいので、刷新すべきです。フロアマップ、誰からのお知らせなどは階段室内に設けることにより利用率は上がると思われる。現在無秩序に張られている「職員募集」などもまとめて掲示することにより、整然としたものとなります。
		一般	課名看板の英語表記 【アイデア賞採用】	一昔前にくらべ外国人住人が増えており、外国人住民にも優しい市役所とするべくまずは課名看板に英語表記を併記することを提案します。外国人住人がどの課へいけばいいかわかりやすくなると思います。
		一般	床上案内表示と、既存の庁舎案内図の 改善 【アイデア賞採用】	市役所を訪れた市民の方から、たびたび庁内の案内が分かりづらいとの声を聞いた。そうした方を、各課へ案内をする際に、庁内案内図があることを話すが、「見づらい、字が小さくて読めない。」等の声を聞いた。来庁された方の目につくような、庁内案内図や、通路等に案内表示をすることにより、目的の課までスムーズに行くことができると考えられる。
		一般	各課案内について 【アイデア賞採用】	市役所に来庁される市民が各課の場所がわからず、迷っているのを見かけることが多々あるのでわかりやすい案内表示をする必要があると思います。床に矢印（シール等）を設置し案内をすることで、各課への誘導がスムーズになり、職員が案内誘導することが少なくなる。
		一般	目立つ各階の配置図を掲示する 【アイデア賞採用】	現在、各階の配置図が見にくく、初めての来庁者や普段利用しない会議室の利用者等で迷っている方をお見受けする。特に2、3階では本館と新館に分かれているため、普段市役所に入りにくい方にとって分かりづらい構造であると思われる。そこで、各階のエレベーターと階段付近に、もっと大きく分かりやすい現在地を示した配置図を掲示することで、市民の方がスムーズに目的地に着くことができ、また職員がご案内する手間を減らすことができると考える。
		一般	グループウェア・フォーラムのタイト ル表記の標準化 【アイデア賞採用】	現在、グループウェア・フォーラムのタイトル表記方法には、特段のルールが定めておらず、投稿者に委ねられている。しかしフォーラムには関係各課が情報上げるため、その内容は多岐にわたるが、仕様では表記に重要度を示す機能等は有していない。このため閲覧者は、投稿日時順に掲載された記事の表題から、情報の緊急度を判断することが困難である。タイトルの表記方法に一定のルールを設け（標準化）、投稿者に周知することにより、投稿情報の見落としによる業務の遅延を防ぐと同時に、情報の興味を有する時間の低減を図るものである。

年	期	種類	提案題名	概要
平成27年度	下期	一般	女性管理職職員と後輩女性職員の意見交換会の開催	女性職員の昇格について。キャリアには女性のライフスタイルにあったタイミングが最も重要であると考えます。まずは女性職員自身が意識を持つように、女性管理職職員から後輩女性職員の相談に対して助言や指導を行う意見交換会を開催し、女性職員のネットワークを構築することを提案します。実体験から、管理職の悩みの解決策、現在の状況、後輩へのアドバイス等、生の声を聞くことで後輩職員の意識向上につながるかと考えます。3月末の内示で管理職になることが決まり、タイミングの悪さに退職、不安を抱えたまま仕事を続け体調を崩してしまう等がないように、心構えを持つこと、今現在活躍している女性管理職とのパイプを持つことは必要です。
		一般	1課1改善運動による人材育成研修	人事研修の一環として、1課1改善運動による人材育成研修を行います。具体的には、係長級の職員をプロジェクトリーダーに指名し、プロジェクトリーダーが職場の現状分析を行い、課題を見つけ、改善策を作成し、実行します。
		一般	本庁浄書印刷を予約化【アイディア賞採用】	印刷作業でも短時間で終わるものも多いと思います。この提案はあくまで短時間使用者と長時間使用者との差別化をはかり業務を改善に臨みます。ですので一日の中でもスケジュール上で短時間使用予定の方が誰でも自由に使える時間（少し待たば交代できるため）と長時間使用者が予約できる時間との二つをスケジュール上で組めば良いと思います。
		一般	契約書の両面印刷【アイディア賞採用】	現在、本市においては契約書を作成する際にA3片面印刷したものを半分に山折するのだが、主流となっている。これは、かつて各課に両面印刷ができるプリンターが配備されていたがなくなったためと推測されます。しかしながら、平成26年度までに実施された最適化事業に伴い、NECマルチライターのような両面印刷ができるプリンターが配備されていますので、今後契約書の印刷においては、A4両面印刷を進めるよう提案するものです。これにより、印刷用紙の節約、省資源化の推進に寄与できます。
		一般	文書印刷時のインク・トナー節約設定の奨励【アイディア賞採用】	庁内向け文書の印刷時にインク・トナーの節約オプションを設定することで、使用量の削減を目指す。1枚ごとの節約量は微々たるものだが、庁内の文書印刷量は膨大であるため、全庁的・長期的に取り組むことでインク・トナーのコスト削減が見込めると考えられる。
		一般	庁内会議の機能的な運営（スリム化）について【アイディア賞採用】	庁内会議を機能的に運営することで、時間の有効活用と業務の向上を図る。特に、会議時間については、会議の終了時刻を設定し、開催通知に明記するとともに会議冒頭に終了時刻を宣言するようにすることで、時間に限りがあることを意識させ、活発な議論を促す。また、会議時間は最大でも1時間30分を限度とし、1時間以内を目安とする。会議での報告事項は、できる限り資料配布により済ませ、会議時間のスリム化を行なう。会議で所属課を離席する場合でも、終了時刻が分かれば、電話や来客に対して会議終了時刻を告げることができ、スムーズな対応を行なうことができる。
	上期	一般	AED(自動体外式除細動器)の貸し出し	イベント・スポーツ大会などを催される際、主催者の方などを対象にAEDを無料で貸し出します。今年度7月より市内コンビニにAEDが設置されました。市民のAEDに対する関心は、より増すことと考えられます。呼吸停止から1分以内に心肺蘇生法やAEDの電気ショックを施せば97%は救命できると言われているが、3分で50%、6分で20%の救命率と落ち込む。救急車が通報を受けてから現場に到着するまで全国平均で約7分かかってしまい、このときには救命率は10%ほど。重要なのは救急車が到着するまでの現場で何ができるかということになる。AEDが設置してあるということ、いざという時の安全を確保でき、主催者・参加者双方の安心が得られます。
		一般	タクシー乗降場所の表示について	私は、タクシー乗降場所を正面玄関に統一し、案内表示するというを提案したい。蒲郡では路線バスや巡回バスがない代わりにタクシーを利用して市役所へ来る方がいらっしゃる。以前、タクシーを頼んだが、どこで待たせたいかとお客様に聞かれたことがあったので、場所が決まっていれば案内しなさいと思った。市内のタクシー会社に周知し、徹底すれば利用者にもわかりやすい。また、地面のコンクリートの色を変えて、乗降専用スペースの表示をすとさらによい。このことから、タクシー利用者の混雑がなくなり、乗降スペースを確保することで事故防止につながるという効果が得られると思う。
		一般	新規採用時の本庁外施設研修【アイディア賞採用】	蒲郡市役所の勤務場所や委託施設として本庁以外に複数ありますが、これら場所は配属されないとその建物や場所へ行くことが無かったり、業務で関わりが無ければその存在すら認識されないこともあります。それら施設の役割や場所を理解するために、新規採用職員に対して新規採用時研修のメニューに盛り込むことを提案します。
		一般	名札に所属課を貼る【アイディア賞採用】	所属課名をテプラで作り、名札に貼ることにより、経費がかからず市民の方、職員同士が名前を覚えやすくコミュニケーションがとりやすくなる。
		一般	人事異動に伴う前任者からの引継ぎ文書の所定様式化【アイディア賞採用】	従来、職員個人に任せてきた事務引継ぎ文書について、目的、スケジュール、処理方法、注意点、共有ドライブの説明など内容を所定様式とし、庁内事務職間で統一する。そのことによって、人事異動に伴う業務面でのストレスを軽減、組織内での事務効率化、前任者と後任者との引継ぎの見える化を実現し、業務面での不安を理由とした病気休暇を取得の職員を減らしたい。
		一般	市民が手続きに来た際に渡す配布物に市職員受付者欄を積極的に設ける【アイディア賞採用】	手続きに来た際に市民に渡す案内文書などに、市職員受付者欄を積極的に設けることを提案します。民間企業等でサービスを利用する際は、自分の担当者が決まっていたり、資料に担当者が明記されていることがよくありますが、市役所の窓口業務ではそれが少ないように感じます。そのため、窓口に来た方が手続きについて再度聞きたい場合、以前担当した職員の氏名が分からないため取り次いでみても、新たな職員にまた一から話すという場面が見られます。この提案の実施により、そのようなわずらわしさを軽減することができ、また、市民との信頼関係の構築、職員の業務に対する責任意識の向上に役立つと思います。
		一般	災害時いかに早く的確に動けるか！アクションカードの導入【アイディア賞採用】	災害初動時に、スムーズに動ける体制を作るために、行動をカード方式で記入して誘導する「アクションカード」を作成し、初動体制に導入する。アクションカードとは、発災時、登庁した職員が誰でも行動できるように行動指標が書かれたカード。これを使うことで何をすればよいかが明確になる。
		一般	未供用道路における市有地の適正な管理方法について【アイディア賞採用】	未供用道路における市有地は、道路工事が完了していないため、雑草が繁茂している状況である。除草作業を行っているものの、道路が未供用である以上は、除草作業を続けていかなければならない。1〜3年で供用開始される道路であれば除草作業でも良いが、凍結路線ともなると、永続的に除草作業を行うことになり、防草シートを敷設した方がコストが安価となる。そこで、道路の供用開始までの期間を「3年、5年、10年、20年」と区切り、適切な管理方法を探ることが良いと考える。
		一般	ふるさと納税のお礼の品を別の物に替えてみる【アイディア賞採用】	今、流行っているふるさと納税のお礼の品を、蒲郡の特産品であるみかん等に変更してはいいかなと思います。以前にがまごりのふるさと納税に寄付した人の感想を聞いてみたところ、他の市のように食べてなくなる特産品の方が嬉しいということだったので、蒲郡みかん等をお礼の品として付けて欲しいと思います。今年から自分で申告をしなくて良かったのでお礼の品さえ興味のある物にしたら納税が増えるのではないかと・・・。私も温室みかん等ならしても良いと思います。

年	期	種類	提案題名	概要
平成26年度	下期	一般	PHV、PHEVで非常用電源を確保	プリウスPHVは、大容量充電電池を内蔵しており、電池容量は4,400whと家庭用蓄電池並みである。実際にプリウスPHVの外部電源機能で男性数人が避難生活を試したところ、9日間電気を使うことができたとの報告もある。 豊田市の中学校で行われた防災訓練ではプリウスPHVを用いて、避難所へのエネルギー提供ができることも実証された。 また、一般自動車での発電は電圧が安定しないことがデメリットだが、PHV等では充電電池に充電してから電気を供給するため電圧も安定し、大きな電力を使用する家電も使えるメリットがある。
		一般	「特定健診の結果説明会の実施」	現在国民健康保険被保険者の特定健診は、医師等からの結果についての説明や指導はない。健診の結果の郵送が受診後から時間が経っていることや説明がないことで、結果に興味を持たない人や結果の見方などわからない人が多い。蒲郡市は、県内でも健診の受診率も高い方ではないため、本人に健診の結果を正しく結果を説明し、保健指導につなげていくことが必要である。結果を正しく理解すれば、特定保健指導につなげるとともに、健診データの改善、健康づくりに役立ち、国保医療費の削減にもなる。そこで、特定健診の受診後に、受診者を一同に集めた健診結果説明会を実施する。保健指導は保険年金課の管理栄養士や、健康推進課の保健師が実施する。
		一般	期日前投票所の移転	期日前投票については、各種選挙のたびに投票者数が増え、先の衆議院総選挙の際にも、投票日の週に入ると、102会議室の前に人だかりができるほどとなっている。投票日当日の投票会場となる北棟集会室こそ、新たな、期日前投票所にふさわしいと考える。北棟集会室にすることで、国政選挙に際しても、投票者が室外にあふれることもなく、整然と投票を行うことができる。
		一般	市役所本庁3階文書BOXの区分変更による明確化【アイデア賞採用】	現在の文書BOXの設備区分は一見して分かりにくく、表示の段の読み違いをすれば非効率になると可能性もあります。出来れば庁舎の階数に合わせたラックの設備更新が最適であると考えますが、コスト的には、現行のままで部ごとのブロック別の組み合わせに変更し、カラーリングで囲んで分類すれば一目瞭然となり、より使い易いものになると考えるので提案します。
	上期	一般	料金後納スタンプで蒲郡をPR	郵便局の規定では1/2までは文字や絵などの広告を入れてもいいことになっており、保険年金課や健康推進課は独自の印刷を行っている。そこで、蒲郡市用の後納スタンプを作成しイベントなどのPRをしてはどうか。市の宣伝を入れてもらうのが、飾り気のない「料金後納郵便」の文字だけじゃなく見た目が美しいPRになる。郵便が送られてきたときに切手は目に入るので、同じようにイラストマークも目に見えたら、作成したものを共有フォルダに入れておけば誰でも使用できる。プリンタでの料金後納マークの印刷をすれば、浄書でスタンプを押す手間が省けるので各課の担当者の負担も減る。
		一般	会計事務の手引き等の電子媒体化を	現在は各課に1冊ないし2冊の会計事務の手引きが備え付けられていると思われるが、内容の更新などは担当者にゆだねられています。こういった全職員が知っておくべきものは、市役所として整備すべきです。経費を抑えるため、紙媒体ではなくオンラインマニュアル化し、グループウェアに掲載すべきだと思います。要綱を確認する時間の省略のほか、調書の印漏れ、決済規定の誤り、計算の誤り等が減少することにより、無駄になっていた修正時間が省かれ経済効果が発生します。改正前の要綱を使い続ける等的人為的ミスも防ぐことができます。
		一般	春日浦住宅地の売れていない区画を駐車場として貸し出す	春日浦住宅地の売れていない区画を駐車場利用目的に限定して借地として貸し出す。対象者は、春日浦地域在住者（事業者及び事業車庫は不可）とする。賃料は、1区画あたりの推定駐車台数×3～5千円/月（形原地区の相場）。当該地の売買が確定した場合は、直ちに原形復旧の上、明け渡す。推定15～25千円/区画/月の収入が期待できる（年間なら18～38万円程度/区画の見込み）。また、市として草刈等の維持管理が不要となる。
		一般	「イブニング・スタディ」（通称「イブスタ」）の実施	新卒、社会人含め新規に採用される職員が増え、非常勤職員が一般化してきている。しかし、自分の担当業務をこなすことが最優先なのか、基本的な事務を体系的に覚える機会を与えられていないと感じる。「文書事務」「会計事務」「契約事務」「個人情報」「補助金事務」「旅費」「法規」など各課共通で必要な内容を最低限レクチャーする時間「イブニング・スタディ」（通称「イブスタ」）の開催を提案したい。時間は非常勤職員も参加できるように午後4時15分から午後4時45分、毎月、第0曜日（決め、月1回開催することとし、内容によって講師を変えていく。ミスや事件を起こさないようにするという意味で、リスクマネージメントとしての効果が高い。
	上期	一般	廃棄文書の融解処理で焼却ごみを資源に	文書の廃棄は各課が直接クリーンセンターに持ち込み焼却処理を行っている。焼却処理の場合は、ホッチキスなどは外してバラバラにしないといけないので、廃棄作業にも時間がかかる。さらに、それを各課でクリーンセンターまで持ち込むのがムダが多い。また、焼却処理にも費用がかかる。そこで、廃棄文書を業者に委託し融解処理を行う。東三河では豊橋市と豊川市がすでにやっている。融解処理の際に金属は取り除かれるので、ホッチキスを外すなどの作業は必要なくなる。また、廃棄文書が廃棄されず残ることはなくなり、文書の適切な保存ができる。さらに、焼却処分文書がなくなれば、クリーンセンターの負担も減る。市役所からの紙ごみが多いという声もあるので、ごみ減量になり良い。
		一般	コンビニ等へのAED設置化	現在AEDが設置されているのは、就業時間以外の緊急時に利用できるような施設がほぼ無く、夜間や休日のときの利用ができない状態にあたりする。そのため、24時間AEDが利用可能な施設として市内のコンビニ等への設置と「AED設置店舗」という看板の設置を提案します（各温泉郷や海水浴場を含む）。24時間いつでも利用できる場所への設置を多くすることで、どんな時間帯であっても利用できるようになる。
		一般	新館東西階段への蓄光テープの貼付【アイデア賞採用】	現在、新館東側及び西側の階段は、建物の構造上窓がなく、東側階段については夜6時以降、西側階段については、夜9時以降は「真暗」という表現がびったりな状況になっています。さらに、それを各課で蓄光蓄積し、暗間で自ら発光する蓄光テープを階段の両側に貼付することにより、照明消灯後も階段の使用が可能となります。これにより、24時間階段の使用が可能になり、エレベーターの消費電力を抑制できるだけでなく、健康のために階段を使用する機会を増加させることとなります。また、災害時においてエレベーターの使用できない状況においても、転倒などの事故防止に寄与すると考えます。
		一般	53カレンダーの導入【アイデア賞採用】	53カレンダーは、自治体と契約を結ぶことにより、その自治体のごみ収集日を確認したり、個人でメールアドレスを登録しておくことにより、自分の地域のごみ収集日を前日や当日の指定時間に個別にメール配信でお知らせできるサービスである。このサービスを導入することで、各自自治体のホームページのカレンダー情報の更新作業を低減することができる。メール配信サービスでは、自らデータベース構築、運営することなく、地域ごとのごみ収集日をメール配信でお知らせすることができます。近隣の実施状況については、三河地区では、蒲郡市と西尾市以外はすでに導入をしている。
		一般	勤務時間内の喫煙を禁止する【アイデア賞採用】	現在、庁舎内は全面禁煙であり、北棟の一部に喫煙所が設けてあります。禁煙に関しては、場所は禁止していますが、時間に関する規定がないので、勤務時間中でも自由に喫煙できます。しかし、喫煙のために一定の時間勤務を離れる行為は、職務専念義務に反する行為としてとらえている自治体も増えています。また市民から見ると仕事をさぼっていると思われる方も仕方ありません。既に周辺市町村では勤務時間中の喫煙は禁止されています。本市においても勤務時間中の禁煙を推進する必要があると考えます。
		一般	採用2年目職員からの提案募集【アイデア賞採用】	職員提案制度は長らく続いているが、多くの職員から認知され、制度が活性化しているとは言いがたい状況である。そこで、採用2年目（3年目でも、4年目でも構わないわけであるが。）の職員には、必ず、提案を求めるといったものである。職員の政策形成に係る研修の意味で、全員一律に求めるのであれば、全く問題はなく、むしろ、職員のスキルアップにも繋がるものとする。職員提案制度の活性化にも資する。
		一般	職名規則を改正し、再任用職員の職名を「専門員」とする【アイデア賞採用】	現在、定年退職となった職員が再任用職員として採用されているが、職名がない状態である。強いて言えば「一般職」なのだが「肩書きは肩書き、職名については記載しない場合」が一般的である。市民を含む外部の方が再任用職員を見る場合、年齢や見た目のアンバランスから、違和感を覚えるのではないかとはいへ「再任用職員」というネーミングもネガティブなイメージがあるので、「専門員」という職名とすることを提案する。市民を含む外部の方から「キャリアがあり信頼できる」というイメージを持たれる他、再任用職員自身が専門的に自己の担当事務に取り組む意気込みを持つことができる効果も期待できる。

年	期	種類	提案題名	概要
平成25年度		一般	スプレー缶の排出方法変更 【アイデア賞採用】	現在、蒲郡市ではスプレー缶について、「必ず中身を使い切り、穴を開けてから出してください。」（「ごみの出し方便利帳」より）となっている。しかし、現在は技術革新により、穴を開けずに安全に中身の残留物を排出できるようになっていることから、今後は「中身を使い切り、穴を開けずに出してください。」に変更する。広報、市ホームページで周知するものとし、「ごみの出し方便利帳」についてはシール添付等で対応する。 技術革新に即した対応をすることにより、スピード感をもった行政サービスを提供することが可能となる。
		一般	不用公有財産の売却について 【アイデア賞採用】	消防本部では耐用年数が過ぎた車両は廃車処分をしており、廃車費用がかかっている。官公庁オークション（公有財産売却）というインターネットオークションを活用すれば歳出していたものが歳入となる。今後市の保有している土地・廃車予定の公用車・不用品などを官公庁オークションに出品してはどうか。市の歳入となり、仮に入札者がいなかった場合は費用は一切かからない。 今まで市が負担をして歳出していたものが歳入となり、出品物に興味を持った方が蒲郡市の出品物を見て、オークションページから蒲郡市ホームページへのアクセス増加に繋がるのではないかと。
		一般	各係の案内板表示の明瞭化 【アイデア賞採用】	来庁された方に窓口を案内する際に、フロア図を用意しながら「〇〇係へお尋ねください」という案内になっているが、老若男女や国籍問わず明瞭に案内するには、病院や空港のような案内表示板等に案内した方が、案内する側と案内をされる側もわかりやすい。 窓口案内時に、該当窓口へ明瞭に案内しやすくなり、来庁された住民も目的の窓口がわかりやすくなる。
		一般	AED（自動対外式除細動器）の適切な管理について 【アイデア賞採用】	AEDは、いざという時のための保険だと考えれば心強いものである。（AEDがあるのにいざという時に使うことができれば逆に問題である。）については、AEDを適切に管理するため、消耗品を一括購入（または交換時期の近いものごとをグループ購入）できるように最適化し、ランニングコストの低減を図るとともに、「環境負荷調査」や「エコモビ調査」のように継続的に点検結果や消耗品の交換時期を報告するようにして、不適切な管理がないようにする。
平成24年度		一般	選挙事務（投票速報）のシステム化 【アイデア賞採用】	市内各投票所から本部への投票速報連絡を従来の電話による報告から、簡易申請フォームを利用した報告へ変更する。簡易申請フォームは報告回数分作成しておき、各投票所の報告者は携帯電話から各報告回用のURLへアクセスし、簡易申請フォームより投票状況等を報告する。また、選挙事務従事者・投票立会人の参集状況や投票立会人の引継状況等についても、簡易申請フォームより併せて報告する。
		一般	災害発生等緊急時の安否確認について ～安否確認フォームの利用～ 【アイデア賞採用】	職員の安否確認等を「あいち電子申請・届出システム」を応用した安否確認フォームの運用により、正確かつ迅速に行う。特に、緊急初動隊員が被災者となり必要とする人員の確保が困難となる場合には、速やかに人員を補充する必要がある。そのためには速やかな安否確認や情報収集が欠かせない。「あいち電子申請・届出システム」を応用した安否確認フォームを併用して活用することで、多層連絡体制が可能になり、漏れない非常配備が可能になる。
		一般	本庁階段への消費カロリー掲示 【アイデア賞採用】	殺風景な階段をただ昇り降りするだけでなく、階や踊り場などに1階からの消費カロリーや段数などを掲示することで、階段を使用する楽しみや目的を作る。消費カロリーや段数を掲示することで、（主に）職員や来庁者の健康増進の意欲をくすぐり、階段を使うことに興味を持たせ、健康や節電の促進につながるのではないかと。
		一般	市から市民への通知文書に館及び階数を記載する 【アイデア賞採用】	本庁から市民宛に通知を送る時には、電話番号の他に各課のフロアがある新館・本館の区別及び階数、発送する封筒にも同様にフロアがある新館・本館の区別及び階数の記載を全庁的に徹底する。目的のフロアまでは自分で行くことができるため、要件がある部署がどこにあるのかを探す時間を短縮、経費をかせずに市民サービスの向上を図ることができる。
平成23年度		一般	大地震発生を想定した本庁舎での避難訓練実施	年に1回、本庁舎での大地震発生時の避難訓練（誘導訓練）を実施する。マニュアル等に従って自身の身体防護及び市民の誘導訓練を行う。エレベータは使わない、非常階段を使う、非常扉を閉めるなど実際に行ってみる。可能な限り来庁者も巻き込んで訓練を行う。全職員には浸透していないと思われるので、年に1度（難しければ2年に1度）は実施したい。なお、1階受付やHPなどで事前周知を行う。提案効果は、訓練により正しい避難誘導ができる。電話や来客があるため難しいと思われるので、各課に1～2名は窓口対応等で残る職員を決めておく。
		一般	安全と利便性のために「杖ホルダー」を設置する！ 【アイデア賞採用】	高齢者や障害者の方が窓口や記帳台で、杖の置き場に困っていたり、床に倒れた杖を拾っている姿を見かけることがある。そこで、杖の利用者が来庁する機会が多い市役所の福祉関係の窓口はもとより、高齢者などの利用の多い図書館などの公共施設に杖ホルダーを設置することにより、安全性と利便性を向上させ、「人にやさしい街づくり」を体現させることができる。提案効果は、杖利用者の安全性と利便性が向上し、窓口機能の向上とバリアフリー化が図れる。
		一般	AEDの使い方の図解をラミネートで作成し、AEDに備え付ける 【アイデア賞採用】	いざという時のAEDの使い方に迷わないよう、AEDの使い方の図解をA4程度の大きさでラミネート作成し、公共施設のAEDに備え付ける。写真説明があれば、音声案内と合わせて誰でも臆することなく使うことができる。図解については、あいちAEDマップにおけるAEDの使い方等を引用する。提案効果は、今まで以上に迷い無く使うことができ、1人でも多くの方の命を救うことができる。また、写真による説明（ラミネート）を添付したことをHPなどで周知して、AEDが誰でも簡単に使えることをアピールする。

年	期	種類	提案題名	概要
平成22年度	下期	一般	公用パワーポイントのデザイン統一と共有化 【アイデア賞採用】	デザインの統一は、パワーポイントのスライドマスタを共通化するだけで簡単に行うことができる。各担当者がゼロからレイアウトを考えるといった無駄な作業がなくなるだけでなく、レイアウトやデザインが苦手な人でも美しいプレゼンテーション資料を作ることができる。プレゼンテーション資料は、全体を通して一本筋が通っていたり、統一感があると美しく感じられるものですが、それを演出するうえで最も効果的かつ簡単な方法が、デザインを統一することです。
		一般	登記情報提供サービスの活用	平成18年に名古屋法務局蒲郡出張所が豊川出張所に統合されたため、登記事項証明書等を取得する場合は豊川まで行く必要がある。業務の関係上速やかに登記簿情報等の確認が必要になる場合は、たった1通の登記事項証明書を取得するために法務局まで往復3時間弱かける必要があり、対応の遅延や人件費の無駄遣いにつながっている。 緊急時の対処法として登記情報提供サービス（インターネットによる登記情報の閲覧サービス）を活用することを提案します。
	その他	昼休み中におけるパソコンモニター電源OFFによる省エネ 【アイデア賞採用】	職員全員が昼休み中パソコンの電源を入れっ放しにしていると、1年を通じた電力消費は非常に大きなものとなる。パソコン自体の電源をOFFにすることは、昼休み終了後に起動時間もかかったり市民サービスに影響がでるなどデメリットもある。そこで、実施しやすい方法として、モニターの電源をOFFにすることによる消費電力低減を図る。	
平成21年度	下期	一般	クリーンセンターの時間外及び休日電話対応について	日祝に業務は行っているが電話に出る職員がいなくてもかかわらず、市民から電話で業務時間等の問い合わせが多いクリーンセンターに自動電話応答装置を設置し、時間外や土曜日においては、「業務を終了した旨及び土曜日はお休みの旨」のアナウンス、日祝においては「業務時間の案内及び取扱物の案内」を留守番電話のようにアナウンスする機器を導入する。
		一般	新聞販売店との災害協定	新聞販売店の配達員は、車が入れないような場所にある家にまで、毎日早朝（市民がまだ活動していない時間）や夕方配達しており、市内の地理にとても詳しい。12月定例会の一般質問で「災害時における協定書・覚書の現状と更なる連携強化」について取り上げられた。そこで、新聞販売店と①災害倒壊など被害状況の報告、②災害情報の新聞折込による配布、③避難施設への新聞配布などの災害協定を締結することを提案します。
		一般	市税及び保険料等の減免申請書の一本化	火災や水害等（最近では昨年の台風18号や一昨年のゲリラ豪雨）の災害に遭うと市税や保険料等が減免になります。ただし、減免を受けるためには、本人がその旨の申請をしなければなりません。現在は各担当ごとに申請書の様式を備えており、申請者はそれぞれ個別に記載をしてもらわなければならない状態にあります。多い方では複数枚の記入に及ぶこともあるため、申請書を1枚の書類にまとめることを提案します。
		一般	道路標識の総チェック 【アイデア賞採用】	蒲郡市内にたくさんの道路標識（案内標識や警戒標識など）がありますが、いくつか気になる（観光客が困らないか？）道路標識がある。そこで、「観光のまち蒲郡」にふさわしいまちづくりのため、市内にある道路標識を総チェックすることを提案します。
	上期	一般	システム等の調達ルールの作成	システム導入、更新等の予算要求時にネットワークを経由してネットワークがOKをした件のみを予算に上げることができるようにすべきである。各連携で複雑化した市全体のシステムを最適にすることは行政の情報化を担うネットワークの一つの業務だと思う。それと同時に、システムを調達する際のルールを作成すべきである。
		一般	緑のカーテンで涼しい蒲郡	つる性植物を利用した緑のカーテンは、熱線といわれる赤外線を反射し、葉の気孔からは水分を蒸発しているため、夏の強い日差しを和らげてくれるだけでなく、葉の間を通り抜けてくる涼しい風が室内の温度が上がるのを抑えてくれます。環境にやさしい街づくりの一環として、緑のカーテンを公共施設に設置することを提案します。
		一般	全職員対象に人事課研修として財政状況を説明する	市の財政は非常に危機的な状況であるとされるが、実際にどのくらい危機的であるか、今のまいくと何年度の予算が危ないのか等までしっかり把握している人は少ない。そのため、人事課特別研修として全職員対象にしっかりと財政状況を説明し、給料や退職金がいいつから払えなくなる等の話まで含めれば、危機意識が高まると思う。
		一般	集計作業でのバーコード作成・バーコードリーダーの活用	今回の定額給付金支給事務では、フリーのバーコード作成ソフトにより作成したバーコード（下記参照）をバーコードリーダーで読み取ることで、例えば、申請日7桁の数字をワンタッチで入力することができ、大幅な効率向上が図れました。そこで、調査やアンケート（第四次総合計画市民アンケートなど）の集計作業でバーコード作成とバーコードリーダーを活用することを提案します。
平成21年度	上期	一般	小学生による交通安全広報活動	年に4回ある交通安全運動や交通事故0の日の安全パトロールの広報（録音テープ）を小学校に依頼する。小学生が交通安全啓蒙の内容を企画し、アナウンスすることにより、今までよりも交通安全に対する市民の意識が向上し、交通事故の減少が期待できる。小学生の明るい元気な声が行政無線や防災ラジオを通じて市内に流れることにより、市内に活力と笑顔を少しでも増やすことができる。
		一般	各業者から提示される見積書で「1式」のみの記述は受取り禁止 【アイデア賞採用】	当市役所では様々な購入品や委託業務がありますが、なかには「1式」と書かれた見積書にて合意契約や支払いがされています。これでは、適正な価格で支払いをしているのかすらかわらず、不適正な価格で支払いをしているものが多数あります。今後、各業者から提示される見積書で「1式」のみの記述は受取り禁止とします。